



こんなこともできるかも

「そんなことできるわけない」と思っていたことが、何かのきっかけで「やらざるを得ない」ことに変わることがあります。ここ数か月の間に、そんな体験をされた方もいるのではないのでしょうか。

実際の一つの例として、最近のメディアでは様々なリモート機能を使用したオンライン授業の取り組みが紹介されています。軽井沢中学校でも分散登校中に短時間のオンライン授業が行われるなど、いくつかの取り組みがあります。

でももし、新型コロナウィルス(以下:コロナ)がなかったら、これらの取り組みを行うのは、まだ先のことだったかもしれません。まさに、「そんなことできるわけない」ということが、「やらざるを得ない」状況になったわけで

す。もちろん、コロナがない方がいかに決まっていますし、ここで取り組みに関する良し悪しを取り上げるつもりはありませんが、できると思わなかったことができると、次にどのようなことが起きるのでしょうか。

オンライン授業に関して言えば、最初に操作を覚えるにあたって、パソコンや情報技術(IT)に長けている方たちにとっては少しの慣れで済むことであっても、疎い方(私も含めて)にとっては、ちよつとした動作ひとつひとつが「これでいいのかな」という緊張の連続です。同じ時間と同じ作業をしているはずなのに、なんとなく疲労感が増し、「一人でもできるよようになるのかな」といった思いがよぎることもあります。結果とすれば「一人」でやることはほぼなく、授業をする先生、周辺機器の操作を手伝ってくれる先生、生徒の様子をモニタリングしてくれる先生など、複数の先生で協力してオンライン授業が行われました。また他の先生のオンライン授業の工夫を学び合うなど、この時期だからできた教員同士の学びもありました。新しいことができるように

なると、「不登校の生徒とリモートでつながることができないのではないか」「リモートでつなげば、教室に入れない生徒が別室から授業を受けられるのではないか」「緊急事態にリモートで会議ができるように設定してみてもどうか」「職員研修もオンラインで実施してみようか」など、リモートを利用することで、「こんなこともできるかも」「やってみよう」ということが実際に提案され、いくつかは現実のものとなつていきます。

「そんなことできるわけない」ということでも、一つ一つやっていくことで「思っていたよりやれた」「思っていたよりできた」と感じ、「こんなこともできるかも」と考えることにつながります。そして、次に見えてきた課題に対しては既存の考えに加えて、新しい見方で取り組んだり、備えたりすることができるようになってきます。

直接顔を合わせたり、対面で授業を行うような従来のあり方も大切ですが、新しいツールを使った「こんなこともできるかも」に慣れていくことも大切なかもしれませんね。

植物園だより

●フジバカマが見頃です



フジバカマとアサギマダラ

園では数百株を保存し、今月上旬から下旬頃に見頃を迎えます。その淡い紅紫色の花には、ときにアサギマダラの姿も見られます。

●軽井沢で発見された植物アサマフウロが見頃です



アサマフウロ (浅間風露)

町内の他、本州の湿り気のある草原等に稀な多年草です。濃い紅紫色の花は、9月中旬頃まで楽しめそうです。

●霜柱の花が見頃です



シモバシラ (霜柱)

本州、四国、九州の落葉樹林等に生える多年草です。霜柱のような白色の花は、9月中旬から下旬頃まで楽しめそうです。

●植物観察会中止のお知らせ
新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、今月開催予定の植物観察会を中止します。

●町植物園では、感染予防に取り組み開園しています。園内では、混雑することのないよう、離れての散策にご協力ください。

入園料 小学生以上

1人1回100円

(展示館入館料含む)

新型コロナウイルスの感染状況等により臨時休園となる場合があります。

【問い合わせ】

植物園

483337

～旧三笠ホテルの写真や資料を探しています～
旧三笠ホテルに関する写真や資料、思い出話などを募集しています。
お心あたりの方はご連絡ください。